

身近な花木 再発見! / 杉並区の木・サザンカ
 みどり探訪 / 堀ノ内界隈の千日紅
 緑の歳時記 / アメリカセンダングサ
 特集 / 「落ち葉感謝祭2015」開催
 みどりの窓 / みどりのリサイクル
 みどりの基金
 園芸ワンポイント / 草花や野菜の土づくり



身近な花木 再発見!

杉並区の木

サザンカ

みどり豊かな公園や庭木としてよく植えられるサザンカ。常緑の低木で、白色の自生種は沖縄、九州、四国西南部などで見られます。花びらは通常5枚ですが、園芸品種も古くから栽培されていて、近年は紅や桃色の花や、八重・千重などの種類もあります。耐陰性もあり、葉はツバキより小さめで、10~12月頃開花します。

漢字で書くと「山茶花」、日本固有種なので中国では椿のことを意味しています。ツバキは花ごと散りますが、サザンカは花びらがバラバラに散り、芳香や雄しべの形などでも見分けることができます。たまにチャドクガが潜んでいることがあるので注意しましょう。

花言葉は、寒さに向かう時季に咲くからでしょうか、《困難に打ち勝つ》《ひたむきさ》です。

公共施設利用の予約システムを「さざんかねっと」と呼んでいますね。実はサザンカは区の木なのです。スギ、アケボノスギとともに昭和48年11月に制定されました。杉並区歌にも出てきますが、童謡「たきび」の二番でも唄われています。

♪ さざんかさざんか さいたみち
 たきびだ たきびだ ~♪



みどり探訪

セン ニチ コウ

堀ノ内界隈の千日紅



たそうです。今では、妙法寺門前通り商店会が、昨年から開いている千日紅市くおもてなしの気持ちを千日紅の花に

堀ノ内界隈は、江戸時代から厄除けとして親しまれてきた堀之内妙法寺をはじめ、多くの寺院が集まっている、寺院のみどりと隣り合う落ち着いた地域です。

妙法寺の参詣道の脇から伸びている用水路跡の小道を堀之内小学校に向かってたどっていくと、やがて開放的なお庭に出会います。プランターや植木鉢の花がのびのびと咲いていて楽しそうなお庭です。今回はこのお宅を訪ねて、これまで実践されてきた地域のみどりの活動についてお話を伺いました。

きっかけは、わんわんパトロール。犬の散歩中に子どもたちを見守るといっただけでなく、ついでに草花の種を蒔いて歩くという気軽にできる活動が第一歩だっ

託した手作り花市>のため、ご近所や地域の学校と協力しあって千日紅を育てています。また、ドライフラワーを使って学校のイベントに参加するなど“花を育てる、花を楽しむ”活動として、ネットワークを広げているとのこと。

晩秋の一日、地域の人々のみどりに対する想いがあふれたこの界隈を、ゆっくり歩いてごらんになりませんか？



緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

アメリカセンダングサ (亜米利加棟草)

キク科 / 北アメリカ原産の一年草

茎 はよく分岐して高さ50~150cmになり、全体に暗紫色をおびて茎の切り口は四角形です。

葉は3~5の小葉の複葉で対生します。小葉は先が細く尖り、大きさの揃った三角の鋸歯があり、無毛です。

頭花は目立たない少数の舌状花と筒状花となり黄色です。その外側を長い総苞片がぐるりと囲みます。

種子は約8mmで2本のトゲがあり、衣服や動物に付いて散布され、また水に流されて広がります。

日本には大正時代に渡来し、今では日本全土のやや湿った土地に広く発生しています。区内では都立和田堀公園和田堀池の周りなどで見ることができます。

名前の由来はアメリカセンダングサの葉が樹木のセンダンの葉に似ることによります。

在来のセンダングサは茎がふつう淡緑色で頭花の総苞片は小さく目立ちません。種子は細い四角柱状でトゲは3~4本ですので見分けることができます。



11月15日~12月14日は

落ち葉感謝月間です

みんなで落ち葉
を掃こう！



2015年12月5日[土]

[阿佐谷会場] 場所: 中杉通り(午前9時から1時間程度)
※雨天中止 内容: 落ち葉掃き・落ち葉のリサイクル作業等

[その他会場] 場所: 井草森公園・大田黒公園・蚕糸の森公園・
杉並児童交通公園・天沼弁天池公園(午前9時から)
柏の宮公園・塚山公園・馬橋公園(午前10時から)
内容: 落ち葉掃き(1時間程度)

[井草森会場] 場所: 井草森公園(午前10時から午後3時)
内容: 落ち葉プール、どんぐりを使った工作など
※詳しくは広報すぎなみ11月21日号をご覧ください

問合せ: 落ち葉感謝祭実行委員会
杉並区みどり公園課北公園緑地事務所 03-3396-5261

参加しよう! 1万人の落ち葉掃き

落ち葉
感謝祭
2015



みどりのリサイクル

落ち葉や枝は、どうすればいいの？

私たちにできること



Q みどりのリサイクルって何？



A 落ち葉や枝を自然の循環の中にもどすことです。



豊かな「みどり」は、私たちにやすらぎや憩いを与えてくれたり、生き物の生息空間になったり、都市の騒音やヒートアイランド現象を和らげたりと、生活になくてはならない、とても大切なものです。

そんな「みどり」を維持管理するために、日ごろ発生する落ち葉や剪定枝葉などの植物発生材を、燃えるごみとして捨てないで、可能な限り資源として利用し、自然の循環の中にもどすことは、大切な「みどり」を守ることに繋がります。

家庭や事業者でできること

木の根元に落ち葉を敷こう！



庭や花壇、畑にすき込もう！



剪定枝は庭に積んで土にもどそう！



落ち葉で腐葉土を作ろう！



学校でできること

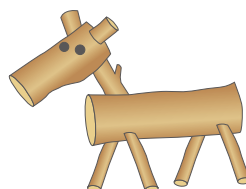


鉢植えには鉢の土も再利用しよう！



枝で花壇の柵を作ろう！

剪定枝で工作しよう！



落ち葉を木の根元に残しておこう！



杉並区みどりの基金



区内のみどりを守り増やすために、杉並区みどりの基金へご寄附をお願いいたします。

杉並区みどりの基金は、区内の樹木・樹林の保全や、緑化活動などに活用しています。

みどりを守り、増やし、育てることは簡単なことではありません。皆さまの寄附により、区内のみどりが少しずつ増えはじめています。

●みどりの基金への寄附の方法は？

- 区役所窓口で
杉並区役所西棟5階にある、みどり公園課へ寄附金をお持ちください。
- イベント会場で
みどり公園課主催のイベントや、苗木配布会場等で設置した募金箱にご寄附いただけます。
- 銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）で
銀行や信用金庫、郵便局（ゆうちょ銀行）でお振込みいただけます。振込用紙をお送りいたしますので、みどり公園課までご連絡ください。

●税制上の優遇措置があります

- 個人の場合
所得税・住民税の控除対象になります。（寄附金から2,000円を差し引いた額が対象です。控除金額には上限があります）
- 法人の場合
事業年度内に寄附した全額を損金に算入できます。（限度額はありません）

あなたの
寄附でできる
こと…



Aさんの庭：阿佐谷北5丁目
皆さんからいただいた寄附金の一部を活用して造られた公園です。



区内に残された保護樹林を守る：清水2丁目ほか
所有者さんが保護樹林を管理するための経費の一部を助成しています。

塚山公園 みどりの相談所

「みどりの相談所」は、塚山公園の管理事務所内にある「みどり」に関する「困った、を解決できるところです。

例えば、「キレイに花を咲かせたい」「花や木の名前を教えてください」「病虫害に困っている」など「みどり」に関する様々な質問や疑問に、園芸ワンポイントでもアドバイスをいただいている専門相談員の先生方が答えてくれます。

来所やお電話で気軽にお問合わせください。



図書コーナーには、植物全般をはじめ園芸や生き物に関する図書を多数揃えています。自由に閲覧できますので活用ください。
※貸出しはしていません。



【相談日時】

- ◆毎週土曜・日曜（年末年始を除く）
- ◆午前9時から午後4時30分（正午から午後1時はお昼休み）
- ※相談受付は午後4時30分で終了しますので、時間に余裕を持ってご相談ください。

【所在地・交通】

- 下高井戸5-23-12
塚山公園管理事務所内
※駐車場はありません。
- ◆南北バス「すぎ丸」(浜田山駅～下高井戸駅)『塚山公園』下車 徒歩1分
 - ◆京王井の頭線『浜田山駅』下車 徒歩約10分
 - ◆京王線『上北沢駅』下車 徒歩約10分
- ※最終頁地図参照

「みどりのボランティア杉並」 第12期会員募集(予定)

みどりのボランティア杉並は、地域緑化に関するボランティア活動を始めようとする方のきっかけの場です。

新たな会員の募集は、2月下旬から始まります。詳しくは、平成28年2月21日号の広報すぎなみをご覧ください。



みどりの相談所の先生に聞く

園芸ワ・ポイント

指導：森 正 先生

みどりに関する相談は 塚山公園みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12

毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分

休所日・年末年始(12/29～1/3)



草花や野菜の土づくり

良い土とは、植物の根に水分と空気（酸素）を十分に与える土で、団粒構造のやや大きな隙間がある土が良いといわれています。

今回はそんな草花や野菜を育てるのに良い土の一般的なつくり方を紹介します。これを基本に、植付ける場所やプランターなどの大きさ、花苗や果樹、野菜などの種類により工夫をしてみてください。

◆用意する材料（ホームセンターや園芸店で販売）

●黒土（畑土）

関東地方の表土で、黒色火山土のことです。

●赤玉土

大・中・小とあり、大は鉢底石として使い、中と小は団粒構造に近い隙間を作るため、植物の根や生長に合わせて他の材料と混ぜ合わせます。

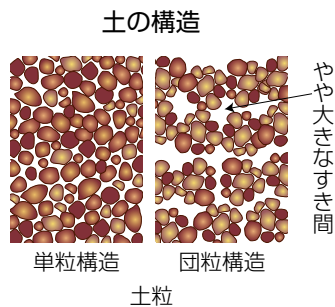
●腐葉土

落葉樹の落ち葉を約1年ほど堆積し、発酵させて作ったもので、肥効性はなく、保水性が高いです。

手で握りしめた時に全部崩れて細くなるものがよいです。

◆混ぜ合わせ方

一般的に黒土20%、赤玉小30%、赤玉中20%、腐葉土30%ぐらいを混ぜ合わせますが、植物の大きさや根の状態（細かい、粗い）などにより配合を調節します。



◆草花の植付け

鉢やプランター、コンテナ等に草花の苗を図のように植付けます。

容器の大きさや形に合わせて草花を選び、形よく植付け、元肥と根が触れないよう注意します。

草花植付（鉢やコンテナ等）

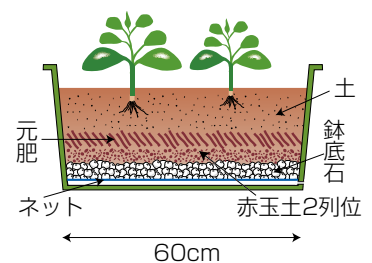


◆野菜の植付け

草花と同様に用土を作り植付けます。

野菜の場合、つる性のものや将来大きくなるものが多いので、小さい容器は避け、後の状態を予想して植付ける場所を決めるとよいです。

野菜苗植付 (プランター 2～3本)



◆元肥（有機質肥料）

緩効性の肥料のことで、油かす、牛糞、鶏糞、骨粉などのバクテリアによる分解が必要なものが用いられます。

◆追肥（化成肥料など）

元肥の効果が無くなる頃、株から少し離して軽く土を掘って施します。

古い用土の再利用

何種類かのふるいにかけてから、黒いビニールに2～3cmの厚さに土を広げ、天日に数時間さらします。天日干しをした土に赤玉土（小・中）を加えるか、新しい用土に約1/3ぐらい混ぜて再び利用します。

編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- 寒さに向かう時季での発行は、冬ごもりの植物が多いためテーマ探しに緻密さが必要と感じました。(中)
- 近くのビオトープで、ミゾソバやサクラタデがたくさん咲いていました。秋の花は、小さくて可憐ですね。(朋)
- 天高く、みのりの秋、木の実が今年は豊作のようで公園の散策が楽しいです。(山)
- 冬芽が日に日に大きく目立つ季節になりました。来春の開花へ向け懸命感がひしひしと。こちらはまだまだがんばらなくては…。(羽)
- 取材に伺い、土作りがとても重要と再認識しました。植物が喜ぶ土作りをより心がけたいと思います。(原)
- みどりの相談所の森先生、パパイア属ありがとうございました。今夏、植木鉢から生育した不思議な植物。(水)
- ヤマボウシ、熟れし実 数個拾って、ホワイトリカーに漬ける。出来栄は如何に……。 (啓)
- 外に出るのに気持ちのよい季節です。空や樹や花にこんにちとは声をかけています。(大)



みどりの新聞 みどりとひと165号 平成27年11月20日発行

編集／みどりのボランティア
編集・発行／杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

